

# 悠游たより 10月

第210号  
令和元年

発行 新居浜生涯学習大学

〒792-0023

新居浜市繁本町8-65

電話・FAX(0897) 33-2991

E-Mail:n-daigaku@city.niihama.ehime.jp



新居浜生涯学習大学の情報は・・・

<http://www.city.niihama.lg.jp/> (新居浜市役所ホームページからアクセス)

<http://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/n-daigaku/> (新居浜生涯学習大学)

## 雑談しま専科



この講座は、代表者の石井さんが開設した、生涯学習大学講座の中でも特色ある講座です。企画や運営等を受講生全員で協力して行います。講座名の通り雑談を主体としております。本年度は、10回の講座を実施します。6月に始まり翌年の3月まであります。初回は保健センターによる「がん」を予防するライフスタイルというテーマでした。資料や映像を見ながらの講義でした。がんは男性が肺がん、女性は大腸がんが多いそうです。いずれにしても早期発見、早期治療が大切ですね。集団けんしんカレンダーでがん検診を定期的に受けることが重要であると認識しました。保健センターの講義終了後は9グループに分かれて雑談を行いました。各グループ5～6名です。ほとんどが初対面の人であるため、初めは下を向いている人、何を話したらいいのか考えている人等、それぞれまちまちですが、とりあえず順番にひと言でも良いから話そうという事で雑談が始まりました。主な話は、健康づくり、食べ物に気をつける、家庭菜園、定期的に検診を受けている等が主でした。長年つちかってきた人生経験豊かな方たちばかりです。話し出すと信号がなかなか赤にならない程、しゃべります。ストレス解消になったのでは？話し合う事で、受講生同士のつながりや親睦がはかられたと思います。



【「雑談しま専科」 スタッフ 野村英男】



## 松山大学公開講座

今年度の松山大学公開講座は“現代社会をいかに生きるか”をテーマに8回の講座を開設しています。初回は5月25日、経済学部のThomas Perrouy講師が母国フランスと日本のLGBTに対する認識や関わり方の差異を通じて、多様性を尊重することや寛容の重要性を語って下さりました。第2回の人文学部の櫻井 啓一郎教授からは、コミュニケーションツールとして普段当たり前に使っているメールを通して、人間関係を円滑にしていく上で“わざとぼかすこと”で相手に想像を促し、労力をかけさせることが大切さとの教えをいただきました。第3回は人文学部の山田 富秋教授が「薬害エイズ問題から考える」と題して、実際の裁判の過程を読み解く中で、現実とは違う情報に左右されてしまう危険性が潜んでおり、正しい知識や情報をもとに判断することが求められることが重要であることを学びました。第4回は薬学部の奥山 聡准教授から「脳機能に作用する様々な食品成分」と題し、朝食をとることが子ども達の成績に大きく影響することや、認知症や成人病とも食事が関連していることなど説明をいただきました。またこの講座では奥山先生も関与した河内晩柑の果皮を活用した脳機能を活性化させるジュースを飲むことができました。第5回と第6回は法学部の水野 貴浩准教授、牧本 公明准教授から私たちの生活と密着した遺言や相続の問題、家族の問題などについて民法と憲法学という違う切り口から話を伺うことができました。憲法14条1項に規定された法の下での平等をどのような考え方のもとに実現させているのかを判例などを通して学ぶことで視野が広がった気がいたしました。いずれの講座もタイムリーなテーマについて、ご自身の研究をもとに熱い講義が展開され、終わった後も先生を囲んでやり取りする姿を多く目にしました。

この後、2回の講義を残すところとなりました。最終回は松山大学を訪問し、新しいキャンパスで受講することになっています。平成3年度の開学当時から継続されてきた松山大学公開講座は生涯学習大学の看板講座として皆さんの知的好奇心を掻き立てる大きな



役割を果たしてきました。これからも社会は大きく急激に変化していくことと思われます。変化に対応して行く上で知識を身に付けることは大きな武器になります。松山大学公開講座が一層充実発展していくよう皆さんの積極的なご参加とご意見をお待ちしています。

## 新居浜環境講座



昨年度南予を襲った豪雨災害、さらには今月千葉県で猛威を振るった台風15号の強風など地球の悲鳴とも思えるような天変地異が全国の至る所で発生しています。その背景には文明の発展のためには自然は後回しになっても構わないという人間の驕りがあったとの指摘もあります。この講座は、私たちの日常レベルの環境に対する取り組みを見つめなおし、小さなことから考え、実践していこうという気持ちでスタートしました。

講座は全4回ですすでに終了しました。まず県内外で先進的に取り組んでおられる事例から学びました。第1回目は内子町で、平成17年度から“えひめA I - 1”やぼかしづくりなどの環境活動に様々な世代が交流しながら取り組んでこられたNPO法人サン・ラブ理事長入江 英昭さんのお話でした。本市でもえひめA I - 1の取り組みや生ごみたい肥化などに取り組んできましたが、なかなか定着しなかった経緯があります。サン・ラブの活動は本当に地道な積み重ねでした。まさに「継続は力」だということを教えてくれました。自分ができることを始めなければと思いつたせてくれるお話でした。

第2回目は三豊市でゴミ処理施設を管理運営している(株)エコマスターの鎌倉 秀行センター長のお話でした。これまでゴミは焼却するものというのが固定観念としてありました。三豊市ではゴミは燃やして処分するものではなく、微生物の力を借りて、固形燃料に生まれ変わり再利用される、ゴミはエネルギーだという発想に驚かされました。

第3回目は瀬戸内みらいづくり研究所の原 恭介所長からグローバルな観点から環境変化を説明していただきました。現在、国連で定めたSDGs（持続可能な開発のための目標）をもとに日本でも取り組んでいます、その背景を様々なデータを駆使して教えていただきました。最終回は新居浜市の実践について、小松 健一さんに説明してもらいました。“自らの意識を換え、一人でも行動するという覚悟が大切”という理念をすべての市民が共有して、明日からの行動を変えていかなければなりません。そうしなければ、地球はこれからも悲鳴を上げ続けることでしょう。そして誰かが悲しくつらい思いをする。それは自分かもしれないはずです。負の連鎖を断ち切るためにも、今できることを始めなければと再認識させられた講座でした。これからも、環境の学びの輪を広げていきたいと思ひます。




# 11月カレンダー



…予定のご確認を…



日 曜	講 座 名	内 容 (テーマ)	会 場	開始時間
6 水	科学博物館講座⑧ 終	別子銅山・東平の思い出	現(科学博物館)	10:00
	雑談しま専科⑥	四国電力 施設見学	現(坂出發電所)	10:00
7 木	新居浜おとな塾リクエスト講座②	古寺から菩提寺へ	現地(河内寺)	10:00
16 土	新居浜高専市民講座⑧ 終	ドイツのクリスマスの文化について	高(第1会議室)	10:00
19 火	新居浜おとな塾リクエスト講座③	黒島神社とともに歩み多くの…	現地(明正寺)	10:00
終…最終回		セ…生涯学習センター	文…文化センター	
こんなときには必ず事前連絡を!		高…新居浜高専		
*欠席する時	*聴講希望の時	ふ…ふれあいプラザ		
連絡先…生涯学習センター ☎33-2991		現…現地		



## 【記念講演会のご案内】

愛媛県では11月1日を「えひめ教育の日」と定め、次世代を担う子どもたちのために教育について一緒に考えるための様々な事業に取り組んでいます。今年は、新居浜市でメイン行事の推進大会が行われます。私たち新居浜生涯学習大学にとっても子どもたちの将来について考え、何かできることがあれば一緒に取り組んでみたいと考えています。

今回の推進大会では記念講演として中央教育審議会委員、生涯学習分科会会長として家庭、地域と学校の連携や社会総がかりの取り組みに関わっておられる千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 先生に家庭・学校・地域が連携し、子どもたちを元気にする具体的な方法についてご講演いただくことになっています。ぜひご参加いただき、さらなる変化の時代を生き抜いていかなければいけない子どもたちの未来について共に考えてまいりましょう。

演 題 「家庭・学校・地域の  
トライアングルで子どもを元気にしよう！」

講 師 千葉敬愛短期大学学長 明石 要一氏

日 時 令和元年10月27日(日) 14:40~16:10

場 所 新居浜市民文化センター 大ホール

※なお当日12:30から「えひめ教育の日」推進大会が同会場で行われています。そこでは記念式典、児童生徒の活動実践紹介も行われます。こちらも併せてぜひご参加ください。



## 【講座日程変更のお知らせ】

新居浜高専市民講座⑥ 9月14日 → 10月12日

新居浜高専市民講座⑧ 10月26日 → 11月16日 (第1会議室)